

地方支部長が抱負を語る

九州関門地方支部長

漢那太作

▽▲▽▲ 座右の銘

人事を尽くして天命を待つ

▲▽▲▽

新年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

九州関門地方支部管内における組合活動の、新しい年での抱負ですが、長崎支部、鹿児島支部、沖縄支部、そして、この3支部を統括する九州関門地方支部の4つの拠点で、組合活動を展開しています。今年もさらなる組合活動を展開していく所存です。

1月6日から2月16日までは、現場組合員の意見集約を行うわけですが、昨年の海員春闘を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響で訪船活動が制限されている中、担当各社の組合員に対し、感染症対策を講じた対話集会や電話連絡など、さまざまな連絡手段を用いて要求内容の組み立てを説明し、共通認識を図りながら要求書を策定しました。また、コロナ禍の収束の見通しが立たず、厳しい交渉が予測され執行部と職場委員をはじめとする地区闘争体制を確立の上、一致団結を力に後継者確保と若年船員の定着率改善に向けた職場環境の整備と船員職業の魅力回復を目指し、鋭意交渉を進めました。各社とも厳しい交渉を強いられ、有効期間内の決着も難航しました。

内航部門は、中央妥結を踏まえ、中央フォロー会社に対し中央妥結内容の踏襲を進め、個別会社との交渉を鋭意進めました。沿海部門や港湾部門も交渉は難航しましたが、現場組合員との連携を密に協議を進めました。

このほかに支部活動として、一年を通して地区労使懇談会、官学労使による就職支援検討委員会の実施や、船員教育機関に在学中の生徒や保護者を対象とした出前講座・漁業ガイダンス、近郊の小学生に対するキャリア教育などに参画しました。コロナ禍を勘案し実施見送りが相次ぎましたが、感染防止対策を万全にした上での参加依頼があった場合や、リモートなどによる参加が可能な場合に参加しました。昨年を踏まえ、今年はさらに活動にまい進したいと思っております。

「海員だより」